火災防災通信システム

取扱説明書

NEシステムズ

平成24年 9月

NESystems

ご注意およびお願い

- ■本取扱説明書の一部あるいは全部をNEシステムズの許可なく無断転載することは 禁止します。
- ■本取扱説明書の内容に関して、改良のため予告なく変更することがあります。
- ■本取扱説明書の内容について、ご不明な点、誤り、記載漏れ等お気付きの点があり ましたら、NEシステムズまでご連絡ください。
- ■本システムを運用した結果の影響に付きましては、前項に関わらず責任を負いかね ますのでご了承ください。
- ■文中のMS-DOSシステム、Windows、WindowsXp、Windows7は米国マイクロソフト社の登録商標です。
- ■一般に、各会社名や各製品名は各社の商標または、商標登録です。

火災防災警報通信システムをご購入頂きまして誠にありがとうございます。 本取扱説明書をお読みになり、本システムについてご理解を深められますよう お願い致します。

お読みになった後は、後日お役に立つこともありますので、本書を大切に保管 してください。

火災防災警報通信システムは、火災防災警報システムからの情報を基に、その 発生情報のモニタ表示、印刷および携帯情報端末へのメール送信を行うもので す。

1991年よりご利用頂いてきた北海道テレメッセージ株式会社様・NTTド コモ様のポケットベルを使用した旧システムを更に進化させた本システムが、 火災防災の管理を行う方々の負担を軽減し、緊急時の迅速な対応に少しでもお 役に立てば幸いです。

1 火災防災警報通信システムの概要

1-1 火災防災警報通信システムの構成

火災防災警報通信システムは、火災防災警報システムからの火災防災情報を収 集する火災防災警報通信装置(LS-FPA256)、収集したデータをデータ 処理装置に送信する火災防災情報収集ユニット(NES-256)、火災防災デ ータ収集配信装置からの情報を分り易く表示、内容の印刷および情報の発信を 行うデータ処理装置(パーソナルコンピュータ)、発信した情報を表示する携帯 情報端末で構成されています。



図1 システム構成図

本システムが取り扱うことのできる最大入力情報数は、火災情報・防災情報そ れぞれ128点、合計256点です。 1 火災防災警報通信システムの概要

1-2 システムを構成する機器について火災防災警報通信システムを運用するためには、次の機器が必要となります。

ご用意される場合には、次に挙げる機器の仕様に準拠し動作することをご確認 ください。

◇パーソナルコンピュータ

DOS/Vパーソナルコンピュータです。

火災防災警報通信装置を接続するRS-232C1ポート、メール送信を行 うためのLAN1ポート、プリンタを接続するパラレルポートが必要です。

また、構内ネットワークと接続するために、 I P アドレスや接続するサーバ 名、メールアカウント等が必要となりますので、ネットワーク管理者に予め 確認をお願いします。本システムは、構内ネットワークを介してインタネッ ト網へ接続されます。

なお、動作に必要なPCの最低限のスペックは以下の通りです。

プロセッサ 1GH、メモリ 512MB、ハードディスク 20GB ◇モニタ

1024×768ドット、256色以上表示可能なものを使用します。 ◇プリンタ

WINDOWSXpで使用可能な、A4サイズの用紙を印刷することができる プリンタを使用します。通常は2枚連続で出力しますので、オートシートフ ィーダ機能付きの物を使用します。

◇携帯情報端末

本システムで収集したデータをメール受信するための端末です。メール受信 機能を持った端末を使用します。

◇WindowsXp (SP2以上を推奨)

本システムのソフトウエアが稼動するためのOSです。火災防災警報通信シ ステムソフトはこのOS上で動作します。

◇構内ネットワーク

本システムから発信するメールを送信するために必要です。

1-3 停電について

本システムは、24時間の運用を前提としています。停電によるシステムの停止を避けるためにも無停電電源装置をご使用することをお勧めします。

2 火災防災警報通信装置(LS-FPA256)

火災防災警報通信装置は、火災防災情報システムからの警報情報を収集し、防 災情報収集ユニットにデータを送る装置です。

火災防災警報通信装置の内部は、入力16点リレー制御基板が16枚で構成されています。合計256点のリレー入力になっています。

火災防災情報システムの各種類の受信器に対応し、防災情報収集ユニットへ送る情報を一元化するためのインターフェース装置です。

各受信器からの情報をリレーで受信するため、接続する各機器への影響が最小 限になるようになっています。

火災防災情報収集ユニットとの接続は専用パラレルケーブルにて行います。

3 火災防災情報収集ユニット(NES-256)

火災防災情報収集ユニットは、火災防災警報通信装置からの256点の火災防 災リレー情報を収集・編集し、そのデータを、状態監視し警報発生時にメール 送信を行うデータ処理装置へ、データを送信するための装置です。 データ処理装置との接続は専用シリアルケーブルにて行います。

火災防災警報通信システムソフトは、火災防災警報通信装置で収集した各受信 器からの情報を、火災防災情報収集ユニットで編集・送信されたデータを元に 状況のモニタ表示、印刷、携帯情報端末へのメール送信等を制御するためのシ ステムソフトです。本ソフトウエアの機能および操作方法は以下の通りです。

- 4-1 火災防災警報通信システムソフトの起動
- ネットワークケーブルがデータ処理装置に接続されていることを確認します。
- プリンタの電源を入れます。用紙をセットしプリンタを印刷可能状態にします。
- 3) データ処理装置を起動します。OSが起動し、続いて火災防災警報通信シ ステムソフト(以下システムソフト)が起動し、図2を表示します。

NESystems Corp. X						
	003-11-21 09:2	28				
火災・防災警報 通信ンステム	印刷する					
	8 19					
000 001 002 003 004 005 006 007 008 009 010 011 012 013 014 015 016 017 0	8 019 7	2				
020 020 021 022 023 024 025 026 027 028 029 030 031 032 033 034 035 036 037 03	38 039 🕻	R.				
040 040 041 042 043 044 045 046 047 048 049 050 051 052 053 054 055 056 057 05	58 059 🐇	⊻				
060 060 061 062 063 064 065 066 067 068 069 070 071 072 073 074 075 076 077 0	78 079	育				
	8 099 ¥	最				
	8 119					
120 120 121 122 123 124 125 126 127 128						
	0 1 10 1	_				
	8 19					
		方				
	<u>88 039 3</u>	8 I				
	8 059	ž –				
	8 079					
<u> </u>	<u>8 099</u> ₹	校				
<u>100</u> 100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 1	8 119					
【メッセージ】						
接続状態 火災防災情報収集ユニット Online						
動作状態 通常モードで動作中です。						
	称令于					
		_				

図2 システムソフト起動画面

この画面で、火災防災警報システムの状態監視を行います。 火災情報、防災情報ともに最大128箇所の監視を行うことができます。 図2は監視する火災情報、防災情報がともに最大に設定されている状態を示し ています。

- 4 火災防災警報通信システム用専用ソフトウエア
- 4-2 画面の説明

画面の構成について説明します。



図3 画面の説明

①火災防災警報通信システムソフトの名称を表示します。

- ②本システムをインストール先の名称を表示します。
- ③現在時刻を表示します。この時刻は、データ処理装置のシステム時刻です。
 - この時刻を修正する場合には、コントロールパネルの日付と時刻を使用して 修正してください。
- ④発生した情報を印刷するかどうかを切り替えるボタンです。起動時には、印刷する状態になっています。通常はこの状態で運用します。
- ⑤火災情報の状態を表示する欄です。警報が発生すると該当する欄が緑色から 赤色に変わり発生状態を確認できるように表示します。警報が解除されると 該当する欄は赤色から緑色に戻ります。
- ⑥防災情報の状態を表示する欄です。警報が発生すると該当する欄が緑色から 赤色に変わり発生状態を確認できるように表示します。警報が解除されると 該当する欄は赤色から緑色に戻ります。
- ⑦発生した火災および防災警報の発生時刻、情報番号、情報内容を表示します。 警報が解除されると表示欄は空白に戻ります。

⑧接続している火災防災情報収集ユニットの状態表示と、試験モード時の火災 防災情報収集ユニットの通信状態を表示します。

⑨通常モードか試験モードのどちらか動作している状態を表示します。

- ⑩通常モードで運転中の場合には、このボタンは操作できません。試験モード時に通常モードに戻る場合に操作できるようになります。
- ①通常モードから試験モードに移る場合にクリックします。試験モードで運転 中の場合には、このボタンは操作できません。通常モード時に試験モードに 移る場合に操作します。

⑩火災防災情報の発生状態の履歴を表示する場合に操作します。

13火災防災警報通信システムソフトを終了する場合にクリックします。

4-3 火災防災警報通信システムソフトの動作

4-3-1 通常モード(通常運転状態)

本システムソフトを起動した状態で、実際に火災防災警報を取り込むと、モニ タ画面は図4のように該当箇所が緑色から赤色に変わり位置を表示します。続 けて、OSにセットアップされたメーラーソフトを起動し、携帯情報端末にメ ール送信を行います。



図4 火災防災警報発生画面

同時に発生した火災防災警報の発生時刻、該当番号、発生内容をメッセージ欄 に表示します。また、通常の状態では右上の印刷するボタンは'印刷する'を 表示しているので印刷を行います。

印刷は通常モードの場合には、メッセージ欄と同じ内容で印刷を行ない2枚出 力します。

火災防災警報が複数発生した場合にはこれらの動作を発生順に繰り返します。 発生していた火災防災警報が復旧した場合には、該当箇所が赤色から緑色に戻 ります。

4-3-2 印刷について

右上の'印刷する'ボタンをクリックすると火災防災警報発生時の印刷処理を 行うかどうかを切り替えることができます。



図5の状態では、印刷処理を実行します。

この状態で、このボタンをクリックすると図6の状態になります。さらにクリックすると元の状態に戻ります。

図5 印刷する



図6の状態では、印刷処理を実行しません。通常は印刷処 理を行いますので図5の状態になるように、このボタンを クリックしてください。

図6 印刷しない

4	火災防災警報通信システム用専用ソフトウ	1エア
---	---------------------	-----

4-3-3 試験モード(試験運転状態)

試験モードボタンをクリックすると試験モードになります。

	NESystems Corp. 🛛 🗙					
ル ※・ 防災整報 通信シュフテム 北海道 ***********************************	2003-11-21 09:36					
	印刷する					
00 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 000 001 002 003 004 005 006 007 008 009 010 011 012 013 014 015 020 020 021 022 023 024 025 026 027 028 030 031 032 033 034 035 040 041 042 043 044 045 046 047 048 049 050 051 052 053 054 055 060 061 063 064 065 066 067 068 051 052 053 054 055 060 061 063 064 065 066 067 068 069 070 071 072 073 074 075	16 17 18 19 016 017 018 019 火 036 037 038 039 火 056 057 058 059 076 077 078 079 情					
080 080 081 082 083 084 085 086 087 088 089 090 091 092 093 094 095 100 100 101 102 103 104 105 106 107 108 089 090 091 092 093 094 095 100 100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 120 120 121 122 123 124 125 126 127 128	<u>096 097 098 099</u> 報 116 117 118 119					
00 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 000 001 002 003 004 005 006 007 08 09 10 11 12 13 14 15 000 001 002 003 004 005 006 007 088 009 010 011 012 013 014 015 020 020 021 022 023 024 025 026 027 028 029 030 031 032 033 034 035 040 041 042 043 044 045 046 047 048 049 050 051 052 053 054 055 060 060 052 053 054 055 060 060 071 072 073 074 075 <	16 17 18 19 016 017 018 019 036 037 038 039 056 057 058 059 076 077 078 079 096 097 098 099 116 117 118 119					
メッセージ 接続状態 火災防災情報収集ユニット Online 000000000000000000000000000000000000						
動作状態 試験モードで動作中です。通常モードボタンで通常モードに戻ります。						
通常モード 試験モード 履歴	終了					

図7 試験モード画面

火災防災警報を取り込むと通常モードと同様に、該当箇所が緑色から赤色に変わり位置を表示します。この後、通常モードではメール送信を行いますが、こ のモードでは送信しません。

発生内容は、'印刷する'モードになっている場合には印刷することができます。 この場合、個別に印刷するのではなく、一枚の用紙に発生順に連続印刷します。 用紙に一杯になるか、通常モードに切り替えた場合(試験モードを終了した場 合)に、発生した内容のメッセージを印刷します。

これは火災防災システムの受信機の動作確認試験を本システムソフトを利用して行うためです。

接続状態の表示欄には、火災防災情報収集ユニットの収集したデータを表示します。

動作状態の表示欄には、試験モードで動作中であることを示します。

通常モードに戻るには、通常モードボタンをクリックします。

4-3-4 接続状態について

火災防災情報収集ユニットと正常に通信を行っている場合には、'Online'を表示し、通信が途絶えた場合には、'Offline'を表示します。通信が回復すると 'Online'を表示します。

4-3-5 動作状態について

通常の運転状態に場合には、'通常モードで動作中です。'を表示します。

試験モードで運転している場合には、'試験モードで動作中です。通常モードボ タンで通常モードに戻ります。'を表示します。

それぞれ、通常モードボタン/試験モードボタンをクリックすることによって 状態を切り替えることができます。

4-3-6 履歴表示

発生した火災防災警報の履歴を表示・印刷します。 履歴ボタンをクリックすると図8を表示します。

🚾 火災・防災警報 通信システム 発報履歴表	示
ファイル名	
	<u>*</u>
	¥
開く 印刷	反る

図8 履歴ファイル表示画面

履歴ファイルを開くには、図8の開くボタンをクリックします。

開					? ×
ファイルの場所型:	🔄 Kb_mail	•	🗈 🗹	🗗 🛅	
Uni0311.krk					
ファイル名(N):	Uni0311.krk			開(@)	
ファイルの種類(工):	履歴ファイル(*.krk)		•	キャンセル	
	🗆 読み取り専用ファイ	ルとして開く(<u>R</u>)			
	図 9	ファイル選択画	町面		

図9を表示します。表示しているファイル名は選択した履歴ファイルを示して います。

履歴ファイル名は、図10に示す要素で構成されています。



内容を表示したい履歴ファイルを選択し、開くボタンをクリックすると図11 を表示します。

🚾 火災・防災警報 通信システム 発報履歴表示	×
ファイル名 C:¥Program Files¥KB_MAIL¥Uni0311.krk	
火災:2003-11-17 11:17 1 CDコーナー 印刷室 火災:2003-11-17 11:18 4 幼児教育棟 2階 火災:2003-11-17 11:18 6 幼児教育棟 4階 火災:2003-11-17 11:21 8 福利棟 厨房・食堂 防災:2003-11-18 19:33 6 図書館棟 2階北側防火扉 防災:2003-11-18 19:36 4 図書館棟 1 ・2階北側防火 防災:2003-11-18 19:37 6 図書館棟 2階北側防火扉 防災:2003-11-18 19:37 6 図書館棟 2階北側防火扉 防災:2003-11-18 19:37 8 図書館棟 1階防火ダンバー 防災:2003-11-18 19:37 8 図書館棟 1 * 2 * 3階西側防火扉、 防災:2003-11-19 08:10 5 図書館棟 1 * 2 * 3階西側防火扉、	♪ 防火SS
開く	▲ 戻る

図11 ファイル内容表示画面

選択した履歴ファイルの内容を表示します。スライドバーを操作することで、 すべての内容を確認することができます。

表示している内容を印刷することができます。 4-3-2 印刷について 'で 記載した印刷ボタンの状態に関わらず印刷することができますので、プリンタ をオンラインにし、A4用紙をセットしてから印刷ボタンをクリックしてくだ さい。印刷を開始します。

履歴表示を終了し、通常モード画面に戻るには、戻るボタンをクリックしてく ださい。

なお、履歴表示状態でも火災防災警報が発生した場合には、メール送信を行い ます。

4-3-7 火災防災警報通信システムソフトの終了

火災防災警報通信システムソフトを終了する場合には、図2の終了ボタンをク リックしてください。OSに戻ります。

この状態で、火災防災警報通信システムソフトを起動する場合には、図12に 示すようにスタートからメニューをたどります。

	40	Windows Update					
2	1	Windows カタログ					
		プログラムのアクセスと既定の設定					
	1	プログラム(<u>P</u>)			1		
	3	最近使ったファイル(D)	1	火災隊方災システム		- 火災8方災シ	274
Inal	2	設定(2)			à		
essic	P	検索(<u>C</u>)	.6		1		
Prof	•	ヘルプとサポート(田)		*			
s XP	0	ファイル名を指定して実行(图)					
wopu	Ø	PEN ወወቻታን(_)					
Ŵ	0	終了オブション(山)…					
1	スタート	2	_				

図12 スタートからの起動

メニューツリーをたどって'火災防災システム'を起動してください。

5 火災防災警報通信システム運用上の注意

火災防災警報通信システムを円滑に運用するために下記の点についてご注意願 います。

- □火災防災情報収集ユニット、プリンタ、データ処理装置(パーソナルコンピ ュータ)、モニタ、携帯情報端末の電源は入っているか。
- □データ処理装置に正しくネットワークケーブルが接続されているか。
- □データ処理装置に正しくプリンタケーブルが接続されているか。
- □データ処理装置に正しくモニタケーブルが接続されているか。
- □火災防災情報収集ユニットに正しく通信ケーブルが接続されているか。
- □火災防災情報収集ユニットが正常に動作しているか。火災防災情報収集ユニ ットの電源が入っていて、正しく通信ケーブルが接続されているにも拘らず 接続状態の表示が 'Offline' を表示したままの場合には、火災防災情報収集 ユニットの故障が考えられます。
- □不具合が発生した場合には、まず上記の点を確認してください。電源やケー ブルの接続等に誤りがなく、尚正常に動作しない場合には、NEシステムズ 株式会社までご連絡してください。

6 その他の注意点について

□火災防災警報通信システムを既存のネットワークシステムに組み込む際には、 IPアドレス、メールアカウント等の設定が必要です。あらかじめ、ネット ワーク管理者にそれらの事項を確認しておく必要があります。

 □ネットワーク通信を無線で行う場合には、鉄筋コンクリート等により所期の 通信速度が得られずに接続のタイムアウトになる可能性があります。この場 合、図13のように通信が停止し、火災防災警報のメール送信動作が停止し てしまいます。通信の速度(転送レート)がそのような状態の場合には、有 線による接続を行ってください。

🗐 Outlook Express				×
要求 <u> </u>	されたタスクを処理中(2	、エラーが発生しまし 参照してください。	た。詳しくは、エラーの一覧	を 閉じる(<u>C</u>) 停止(S) (〈詳細(<u>D</u>)
タスク ● ホスト 'r 'r ソケット エラ		ません。サーバー名が う、プロトコル : 0x800CCC0D	正しいことを確認してくださ : SMTP, ポート : 25, セキ	い。 アカウント : ・ュリティ (SSL): なし,
0 / 1 のタスクが完了	了しました			щ)-

図13 通信エラー画面

通常の動作中に、この画面を表示した場合には、閉じるボタンをクリックし、 この画面を閉じます。火災防災警報通信システムに戻ります。ネットワークに 不具合が発生している場合がありますので、ネットワーク管理者に連絡して確 認してください。なお、有線で接続している場合でも、一時的なトラフィック の多い状態で、火災防災警報のメールを送信しようとした場合に、一時的に通 信できなくなり、図13の状態になる場合があります。

第3版 平成24年 9月 1日

お問い合わせは

NEシステムズ

ホームページ : http://www.nesystems.jp e-Mail : information@nesystems.jp 〒065-0033札幌市東区北33条東12丁目3番13号 電話:011(214)1146 FAX:011(752)7746

NESystems